

核融合科学研究所オープンキャンパス2019 「体感！体験！プラズマエネルギー」

高畑 一也

9月7日(土)に、毎年恒例の秋のイベント、オープンキャンパス（一般公開）を開催しました。今回で22回目となったオープンキャンパスは、「体感！体験！プラズマエネルギー」のテーマのとおり、楽しんで科学に触れることができる体験型イベントです。職員がアイデアを出し合って、自ら製作した科学実験などを企画するため、通常の科学館では見られない展示をご覧いただきました。今年度は、研究所が5月に創立30周年を迎えたことから、特設ブースを設けて、研究所の創立時からの歴史や活動を皆様にご紹介いたしました。また恒例となっているペットボトルロケット、こ

ども工作教室、マスコットキャラクターとの交流は、子ども達にも大人気です。もちろん、施設の一般公開として、ドラマの撮影にも使われた制御室、普段は見ることのできないスーパーコンピュータも間近にご覧いただきました。さらに大型ヘリカル装置（LHD）の内部を忠実に再現したバーチャルリアリティは臨場感があり、今年は500名近い方に体験いただきました。

LHDの見学は、室内が管理区域に設定されたため事前申込制となりました。昨年より多い120名を募集しましたが、予想より多くの方に申込をいただき抽選となりました。当選されなかった皆様



こども工作教室。今年は「光追っかけロボット」を作りました。



創立30周年記念展示の様子



土屋助教による講演会の様子



高い人気を誇る科学実験「不思議な液体」。片栗粉を水に溶かした液体に手を付けると固いのか？柔らかいのか？分からなくなる不思議な感触に。

も、是非来年のお申し込みをお待ちしております。

職員によるエネルギーや核融合に関する講演会も、例年人気を集めている企画です。今回は、土屋隼人助教による「子どもと学ぶエネルギー～風車から核融合まで～」、村上泉教授による「知っているようで知らない太陽のこと」の2部構成で講演会を開催しました。どちらも50名近い方に聴講いただきました。

オープンキャンパスでは、地元少年サッカーチームによる交流大会も同時開催しています。18回目となる今回の大会も白熱した試合が繰り広げられました。16チームの中から栄誉あるNIFS杯を獲得したのは、可児市の中部サッカースポーツ少年団でした。

当日は晴天に恵まれ、約1,400名の方々にご来場いただきました。アンケートでは、「毎年楽しみ



青空の下、ヘリカちゃん、プラズマくんと一緒に輪投げをして遊びました。



大型ヘリカル装置（LHD）の周辺や内部を、3D画像で忠実に再現した話題のバーチャルリアリティで体験しました。

にしています」「スタッフが親切だった」「小さな子どもも一緒に楽しめた」といった嬉しいご意見をいただきました。皆様からいただいたご意見を参考に、来年もさらに充実した内容、分かりやすい展示、公開を企画いたします。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

(装置工学・応用物理研究系 教授／オープンキャンパス2019実行委員長)



子ども達に大人気のペットボトルロケット